

2022（令和4）年3月吉日

関西医療学園校友会は分離して活動することになりました（ご報告）

関西医療学園校友会

会長 明比 大

2021（令和3）年11月28日の臨時代議員会におきまして、2022（令和4）年4月から関西医療学園校友会は、関西医療学園専門学校校友会（以下、専門学校校友会）と関西医療大学校友会（以下、大学校友会）に校友会組織を分離して、それぞれの学校の校友会として、事業活動と財務管理を行うことが決定しましたので、ご報告させていただきます。

1. はじめに

関西医療学園校友会は1961（昭和36）年に関西鍼灸柔整専門学校の卒業生で設立された卒業生、在校生で構成された会です。1985年に関西鍼灸短期大学が設立されましたが、当時は鍼灸学科のみであり、卒業生も少人数であったことなどから、単独で校友会組織を設立するのではなく、鍼灸部会として関西医療学園校友会の組織として活動することとなりました。その後、大学が設立され学部や学科が増設されましたが、鍼灸部会と同様に各部会を設立し、関西医療学園校友会の組織として活動してまいりました。

現在、関西鍼灸短期大学が開学されて37年（2002年関西鍼灸大学への改組により廃止）、関西鍼灸大学（現在の関西医療大学）設立から20年が経過し、大学校友会の部会は、大学鍼灸部会・大学理学療法部会・大学ヘルスプロモーション部会・大学臨床検査部会・大学看護部会と、本年4月設立の大学作業療法部会の6部会となりました。また、専門学校校友会は、専門学校東洋医療部会・専門学校柔整部会・専門学校理学療法部会と現在は3部会ですが、4月に歯科衛生学科が設立され、将来的には専門学校歯科衛生部会を合わせた4部会となり、合計10部会の大きな組織となります。会員数は専門学校を卒業した校友会員が約6,000人、大学を卒業した校友会員が約4,000人と10,000人を超え、日本全国をはじめ世界中で活躍する会員が在籍し、年々、校友会活動も盛大かつ活発に行われるようになりました。

校友会が10部会と大きくなり、会員数が増えたことにより、問題も発生してきました。部会すべてが医療関連職種であり、活動範囲に共通する部分もありますが、それぞれに異なることも多く、より専門性、個別性を探求することから、校友会に求めるニーズが多様化してきており、部会ごとに、迅速かつ専門性を発揮することができにくい環境となってきました。

そこで多様化したニーズに対して、各部会が迅速かつ専門性をもって対応するため、2022（令和4）年4月1日から、関西医療学園校友会は、実務的視点を重視した専門学校校の特徴を生かした関西医療学園専門学校校友会と、研究知見に基づいた大学の特徴を生かした関西医療大学大学校友会に分離して、それぞれの学校の校友会として事業と財務管理を

行い、独り立ちすることになりました。

分離したのちも、専門学校校友会と大学校友会、学園ともに連携をとりながら、広報誌「かんゆう」の発刊や総会、親睦会の開催など、今までのように共通で開催できる事業は合同開催しながらも、それぞれの校友会、部会で専門性をもった事業を行い、お互いが切磋琢磨しながら活動を継続し、会員の皆さんとともに歩むこととなります。

1. なぜ校友会を分けるのか

関西医療学園校友会を、専門学校校友会と大学校友会に分かれて活動する主な理由は、以下の4つです。

① 部会と会員の増加

校友会の部会は、専門学校東洋医療部会、専門学校柔整部会、専門学校理学療法部会、大学鍼灸部会、大学理学療法部会、大学ヘルスプロモーション部会、大学看護部会、大学臨床検査部会、大学作業療法部会あり、専門学校3部会、大学6部会の合計9部会となりました。また、4月には専門学校に歯科衛生学科が開設されることから、将来的には1部会増えて10部会となる予定です。

会員は専門学校を卒業した校友会員が約6,000人、大学を卒業した校友会員が約4,000人と10,000人を超える会員が世界中で活躍をされており、今後も増え続けていくことが予想されること。

② 校友会に求めるニーズの多様化

校友会の各部会は、同じ医療専門職であり、活動範囲が共通した部分もありますが、それぞれ異なる部分も多く、会員や学園から校友会に求めるニーズが多様化してきたこと。

③ それぞれの特徴を生かした活動

専門学校校友会は実務的視点を重視した活動、大学校友会は研究知見に基づいた活動と、それぞれの特徴を生かした活動を行えること。

④ 会費の徴収方法が異なるため

専門学校校友会と大学校友会で、校友会費の徴収方法や時期が異なり、それぞれに対応ができるようにするため。

2. 名称と会員の構成について

1) 名称

名称は、関西医療学園校友会から、関西医療学園専門学校校友会と関西医療大学校友会に変更します。

2) 会員

会員は以下の通りです。

① 関西医療学園専門学校校友会

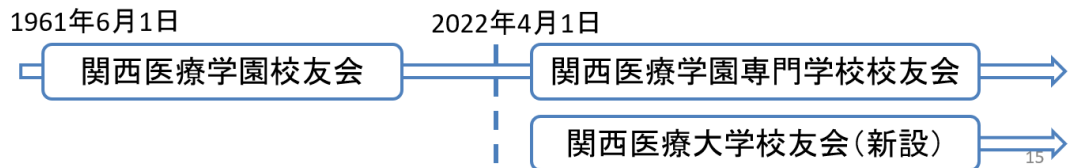
関西医療学園専門学校(関西鍼灸柔整専門学校を含む)に入学し会費を納入したもの。

② 関西医療大学校友会

関西医療大学(関西鍼灸短期大学・関西鍼灸大学を含む)、関西医療大学大学院に入学し会費を納めたもの。

3. 分離の流れについて

関西医療学園校友会の分離については、関西医療学園校友会の歴史と伝統を継承するために、まず、大学校友会に属させたい会員を脱退し、同時に脱退した大学校友会の会員で関西医療大学校友会を設立します。その後、関西医療学園校友会の名称を関西医療学園専門学校校友会と名称変更し、必要な財産や名義等は、専門学校校友会から新設の大学校友会に移します。



4. 財産の分与について

関西医療学園校友会の2021(令和3)年度末決算が終了後、残った資産を、それぞれの校友会の会員数で分配します。

おおよそ専門学校校友会6、大学校友会4の配分になります。

5. 新しい組織について

関西医療学園校友会の会長、副会長、常務理事、理事、監事、代議員は、3月31日をもって解任します。ただし、5月に開催予定の代議員会で、2021(令和3)年度の事業報告、会計報告、会計監査報告を行いますので、5月の代議員会終了までは役員の業務を行います。

4月以降の専門学校校友会、大学校友会の役員について、専門学校校友会は、会長、副会長、常務理事、理事、代議員、幹事で構成されます。代議員会が今まで通り最高決議決定機関となり、会を運営してまいります。

大学校友会は、会長、副会長、理事、幹事で構成されます。大学校友会は、今年立ち上げの年になりますので、小回りの利く組織として、当面、代議員は置かずに理事会が最高決議決定機関となり、大学校友会の基礎を構築します。

関西医療学園校友会の役員が、専門学校校友会や大学校友会の役員を再任することに問題はありません。

6. 会則について

関西医療学園専門学校校友会会則と関西医療大学校友会会則を作成しました。それぞれの会則は、関西医療学園校友会のホームページに掲載しておりますので、ご確認ください。

7. 会計について

専門学校校友会、大学校友会それぞれ別々に財務委員を置き、会計報告を行います。

会計監査は、今まで通り税理士事務所に依頼し、第三者の評価を定期的に行っていきます。また、会計監査報告は今までと同様に、代議員会、総会と学園に報告します。

8. 校友会の活動内容について

専門学校校友会、大学校友会の活動内容は、特に変わりありません。

お互いの校友会が協力して実施する事業として、合同で開催する学術研修会、広報誌「かんゆう」の発行、親睦会、総会などがあり、それぞれの校友会で行っていく事業として、各部会の特徴を生かした学術研修会、親睦会、学生支援活動などがあげられます。

時代や業界の風潮に合わせて、活動費内でニーズに合った内容の活動の質を落とさずに工夫して対応していきます。また、今までにない新しい事業を開催していきます。

8. おわりに

60年を超える歴史のある関西医療学園校友会は、2022年4月から、関西医療学園専門学校校友会として伝統を継承して活動してまいります。新しく設立された関西医療大学校友会は、新しい歴史を築く、はじめの一步を踏み出します。お互いの校友会と学園が協力し、切磋琢磨し、良き伝統は残しながら、改善すべきところは改善、変化して、新しい時代にふさわしい挑戦する校友会に発展することを期待します。

会則はこちらからご確認ください→

